

令和8年度 橋渡し研究プログラム「シーズH」公募説明

九州大学拠点

九州大学 生命科学革新実現化拠点 橋渡し研究推進部門

九州大学病院 ARO次世代医療センター



KYUSHU UNIVERSITY

I. 令和8年度橋渡し研究プログラム「シーズH」公募説明

II. 採択後の支援内容

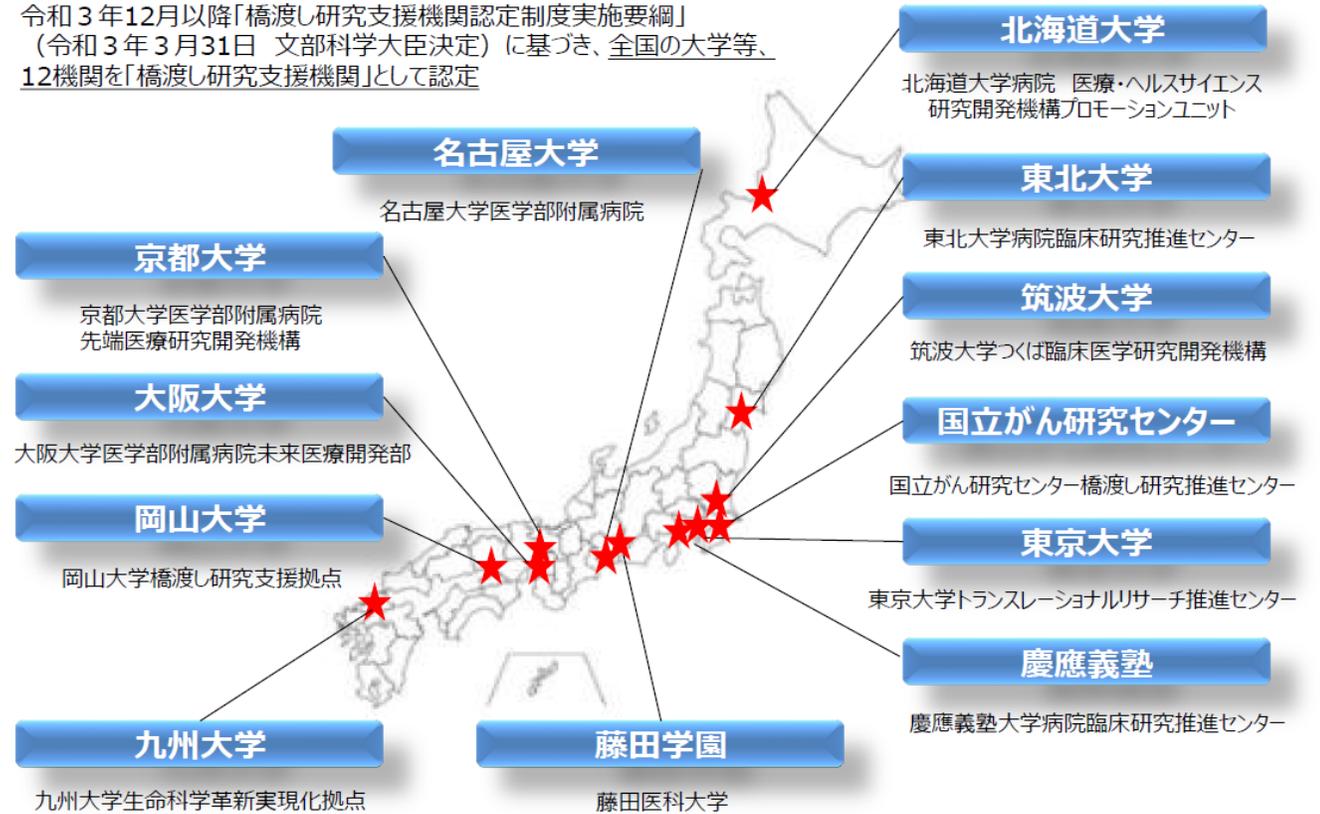


*橋渡し研究プログラムでは橋渡し研究支援機関を活用し、アカデミア等の優れた**基礎研究の成果**を臨床研究・実用化へ効率的に**橋渡しする**ために研究費等の支援を行い、革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指しています。

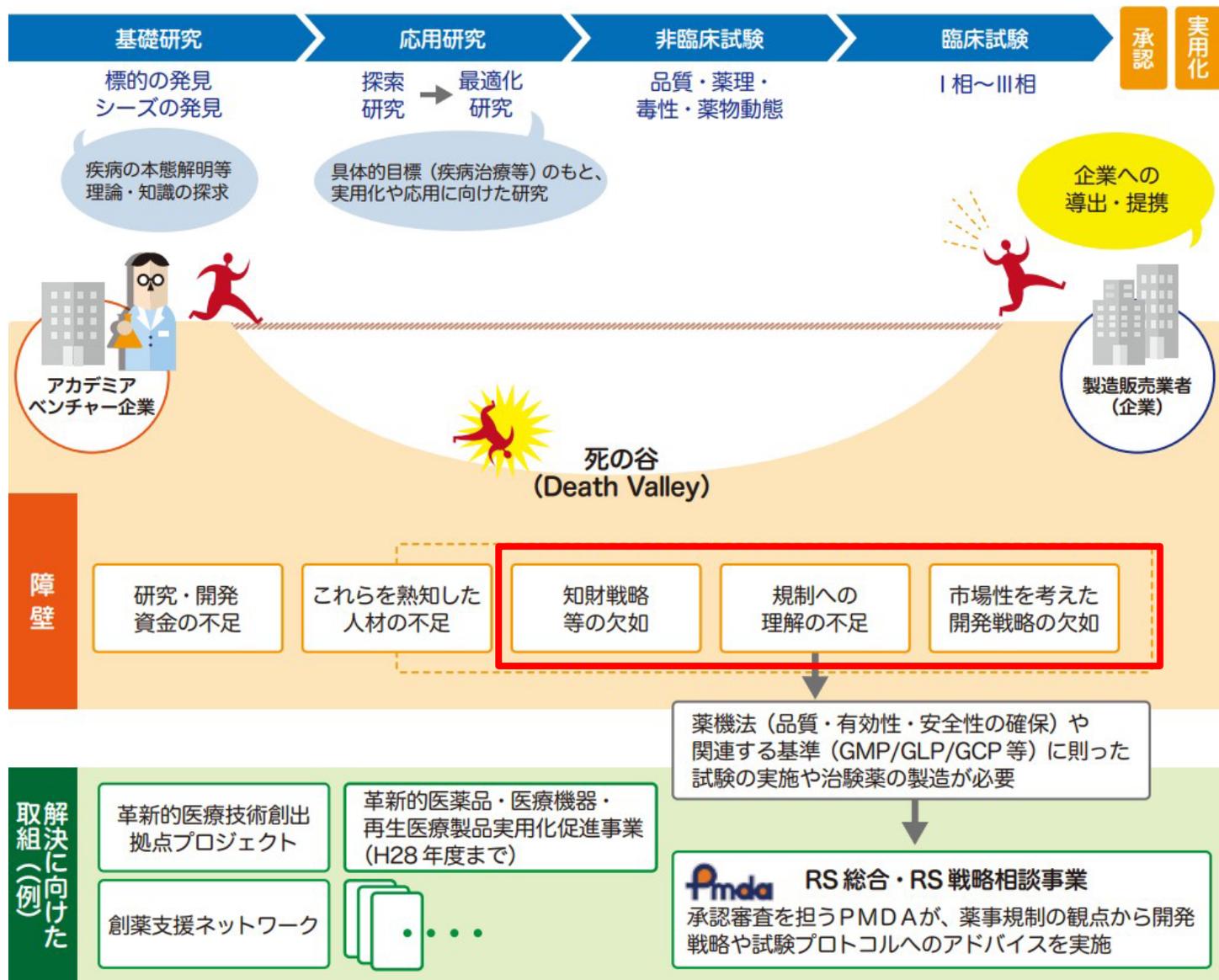
出典 : <https://www.amed.go.jp/program/list/16/01/012.html>

橋渡し研究支援機関 (R7.4.7現在)

令和3年12月以降「橋渡し研究支援機関認定制度実施要綱」(令和3年3月31日 文部科学大臣決定)に基づき、全国の大学等、12機関を「橋渡し研究支援機関」として認定



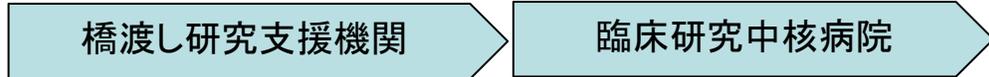
文科省認定 全国12拠点



医療に関わる研究を支援して、実用化に結びつける

基礎	製剤開発	非臨床試験	臨床試験		
特許戦略策定・申請	薬理試験の計画	治験薬製造業者/治験薬提供者の選定・契約	試験デザイン策定・実施計画書作成	その他文書作成	被験者登録
企業連携・共同研究	薬物動態試験の計画	企業との契約	試験物 (治験薬) の調達・管理	薬事・規制当局 (PMDA・厚労省) 対応	モニタリング
	毒性試験の計画	分子細胞調製センター (MCPC) の利用	プロジェクトマネジメント	CROとの契約・業務管理	安全性情報管理
	医療機器関連試験	検査部安全管理ユニット (SIU) の利用	治験調整委員会設置・運営	CRC	監査
			効果安全性評価委員会設置・運営	実施施設選定・交渉	データマネジメント
			ライティング (治験薬概要書/総括報告書)	割付	統計解析

全般：薬事戦略策定 (PMDA RS戦略相談)

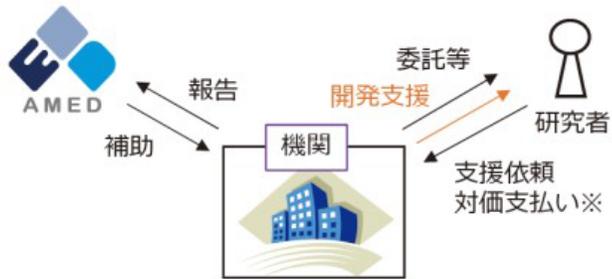


- ・薬事支援
- ・研究者教育
- ・知財コンサルト
- ・企業導出
- ・ベンチャー支援
- ・行政機関連携
- ・国際連携

フェーズに応じた戦略的シーズ開発

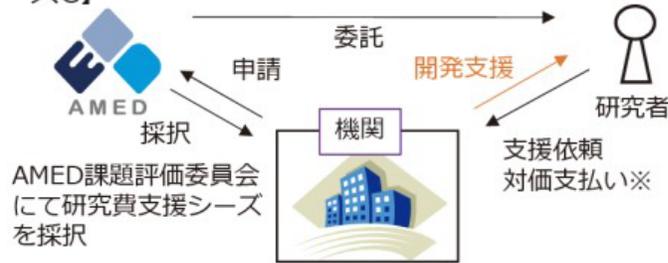
◆Early phase : 基礎～応用

【異分野】 機関内外の支援依頼シーズについて、
【シーズA】 機関内の評価委員会の判定に基づき機関の裁量で研究費を配分



◆Late phase (応用～臨床、産学協働)

【preF】 機関内外からの支援依頼シーズのうち、研究費支援を
【シーズF】 希望するシーズについて、機関がAMEDに支援候補
【シーズB】 シーズとして申請
【シーズC】



※橋渡し研究支援機関は医療実用化のための開発支援を行い、研究者は受給した研究費から支援に対する対価を支払う仕組みになっています。

基礎研究

- ・ **シーズA** 2年間
- ・ **シーズH** (医歯薬以外) 1年間
開発コンセプト、原理・作用機序確認
特許出願

応用研究

- ・ **PreF** 2年間
仕様決定、化合物最適化、品質規格
投与経路、用法用量、投与期間

非臨床研究

- ・ **シーズB** 3年間
毒性試験 (医薬品・医療機器)
性能試験 (体外診断用医薬品)

臨床研究・治験

- ・ **シーズC** 4年間
治験実施体制整備、治験実施

基礎研究

シーズA

特許取得等を目指す課題を橋渡し研究支援機関が主体となって発掘・育成 (橋渡し研究支援機関のシーズの目利き)

応用研究

preF

非臨床POC取得に必要な試験パッケージの策定を目指す課題

非臨床研究

シーズF

企業との連携推進を義務化し、企業からのコミットメントを求め、実用化の加速のための産学協働でPOC取得を目指す課題

シーズB

非臨床POC取得を目指す課題

シーズC

臨床POC取得を目指す課題

異分野融合型研究開発推進支援事業

非医療分野の技術移転と医療応用のための人材育成を実施する課題
橋渡し研究支援機関 (5機関)

← **シーズH(医歯薬以外を対象)**

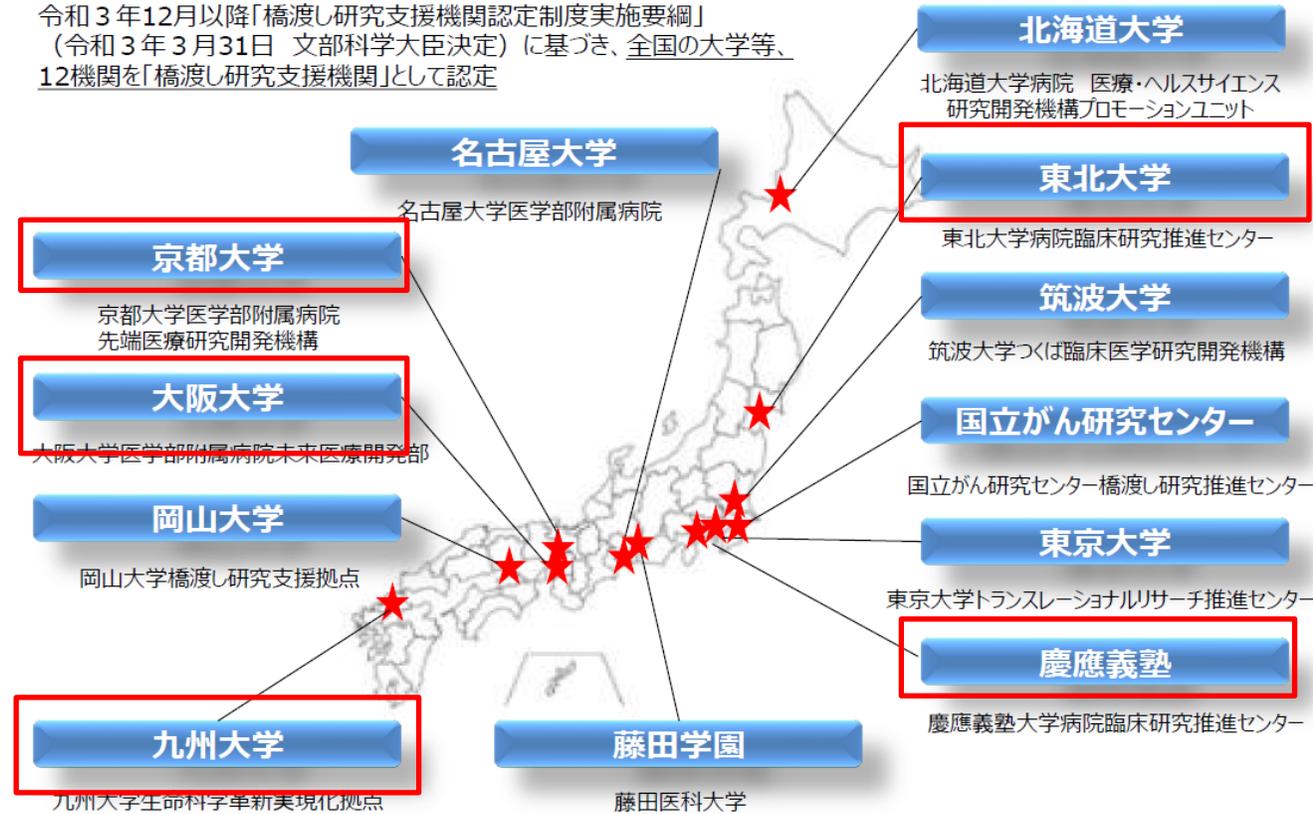
POC = Proof of Concept : 概念実証 有効性+安全性の立証

第3期異分野事業：5拠点

橋渡し研究支援機関（R7.4.7現在）



令和3年12月以降「橋渡し研究支援機関認定制度実施要綱」（令和3年3月31日 文部科学大臣決定）に基づき、全国の大学等、12機関を「橋渡し研究支援機関」として認定



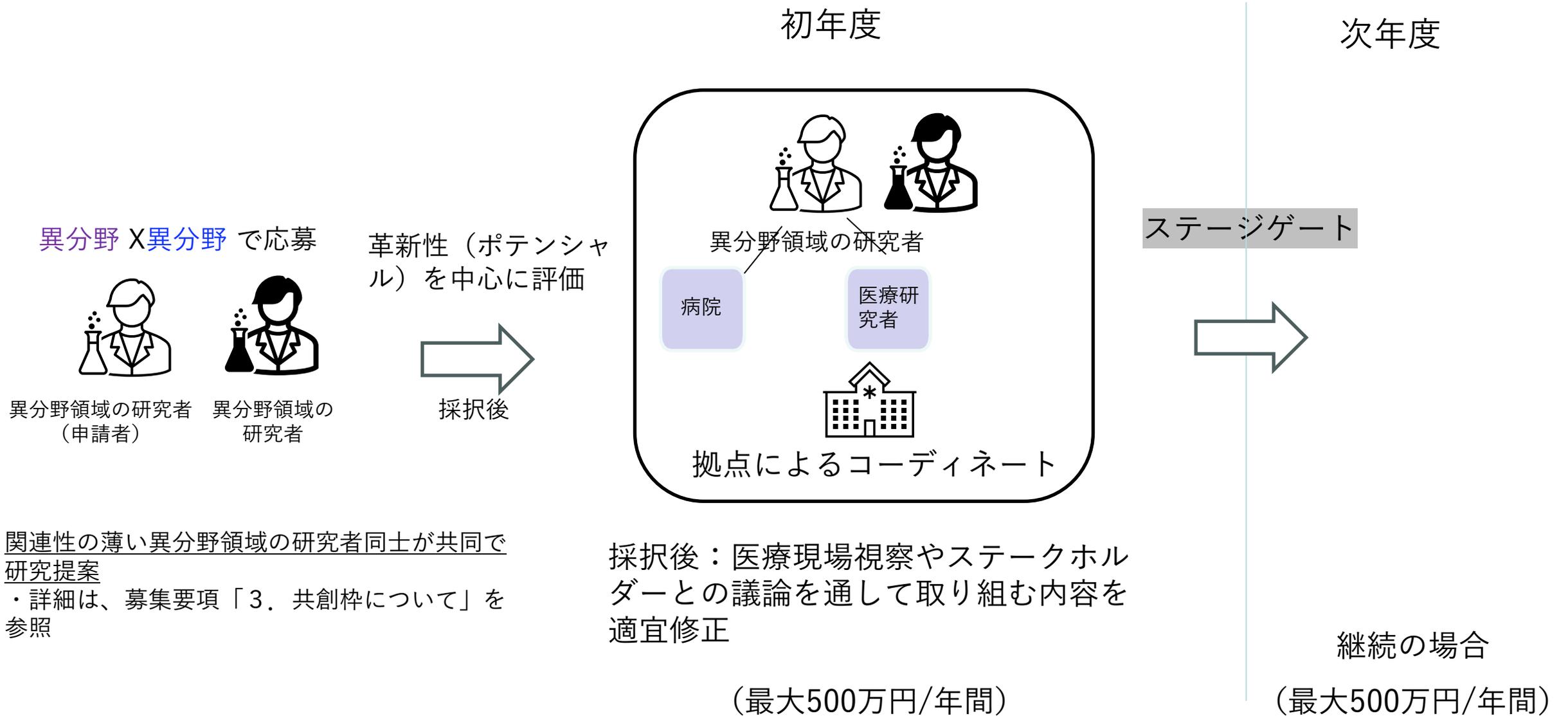
文科省認定 全国12拠点

公募枠	研究費（年間） ※間接経費を含む	支援期間	採択 予定数
一般※	上限200万円	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	7課題 程度
共創※※	上限500万円 *継続の場合 次年度 上限500万円	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日 *年度末にステージゲート審査 があり、通過した場合は1年間 支援が継続となります。	0～1課 題程度

※一般枠の選考で不採択となった課題の中で研究データの補完等により進捗が期待されるような課題を[開拓課題](#)として選ぶ場合があります（最大3課題）。年間上限100万円程度を予定。

※※原則、関連性の薄い異分野領域の研究者同士が共同で研究提案をしていただきます。詳細は「3. 共創枠について」を参照ください。

- ・同一課題での一般枠と共創枠への重複応募は不可といたします。
- ・採択等件数によって、実際の研究開発費は変更の可能性があります。
- ・特許出願に係る費用は所属大学の予算、または配分研究費（間接経費）から支出していただくことになります。



一般枠：異分野領域（医歯薬系以外）の技術を医療応用に向けて研究開発を進めていただきます。

共創枠：研究開発代表者（異分野領域研究者）の持つ技術と別の異分野領域の研究者の技術を融合させ、革新的な医療シーズの創出を試みます。

【対象】

下記の条件をすべて満たす課題

- ・ 大学等アカデミア発の研究成果によるシーズであること。
- ・ **研究開発代表者**が原則、**医学・歯学・薬学系以外の所属**であること。

公募対象に該当するかご不明な方は
「個別相談会」にお申し込みください！

※ 「医工学」等の融合組織の所属者も応募可能であるが、代表者が研究開発だけでなく医療にも従事している場合は応募前に拠点に確認のこと。

※ 研究分担者および協力者は医学・歯学・薬学系所属であっても差し支えない。

※ 民間企業等のアカデミア研究機関以外に所属の研究者が研究代表者となる場合は、応募前に拠点に確認のこと。

- ・ **知財化を目指す開発早期のシーズ**であること。

【求められる成果】

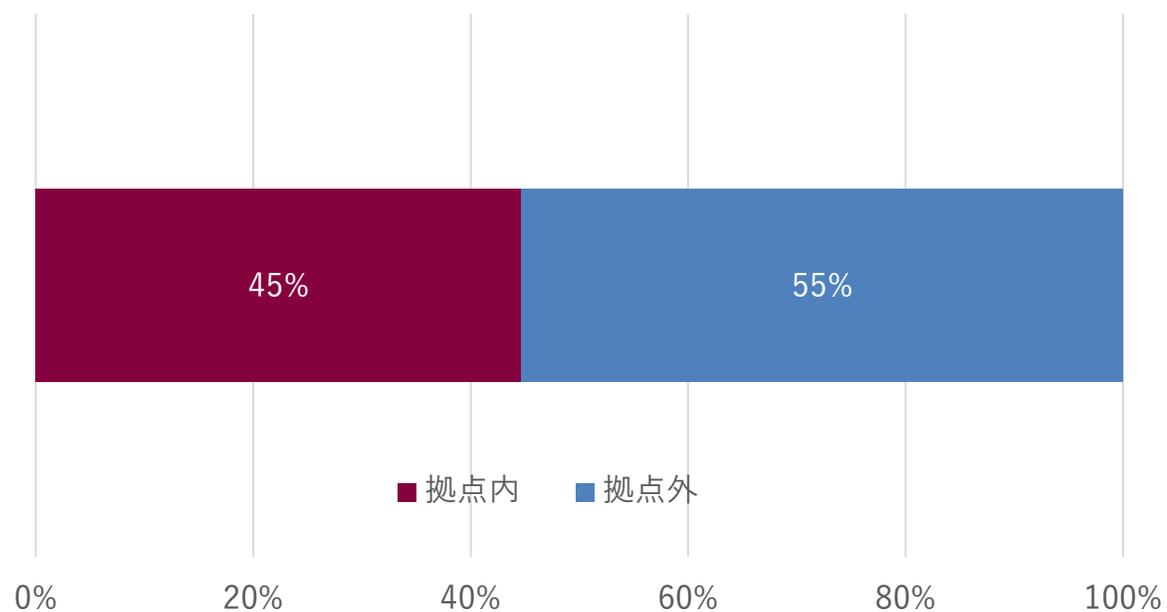
- ・ シーズA等へのステージアップや実用化に関するAMED他事業への応募
- ・ 導出/共同研究/実用化に向けた企業との議論の開始
- ・ 関連特許出願（支援期間後を含む）

【公募（提案書受付）期間】

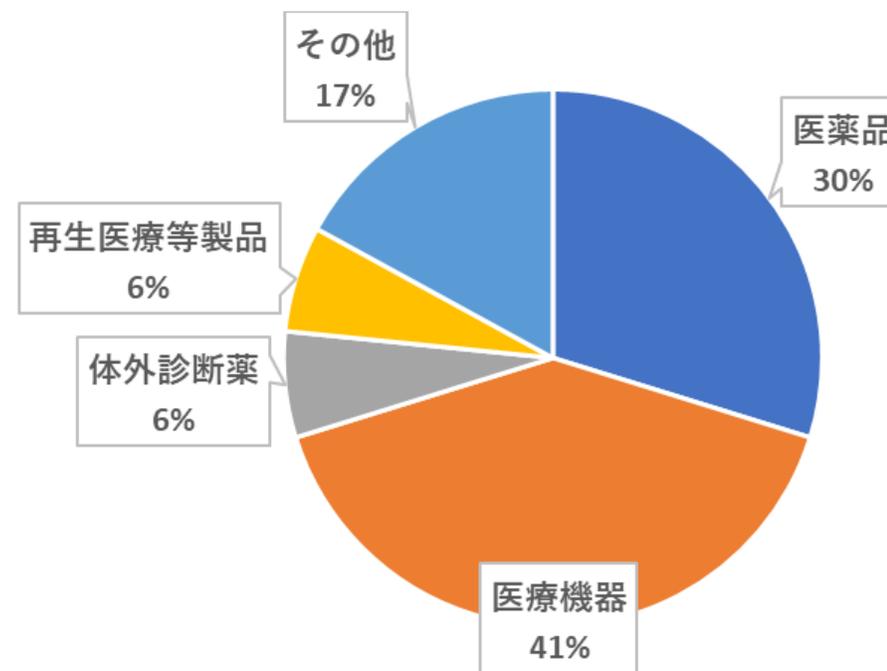
- ・ 令和7年11月1日（月）～令和7年12月8日（月）正午（厳守）

評価項目	評価ポイント
事業該当性	事業趣旨・目的(医歯薬系以外の技術/知識を活用し医療イノベーションの推進)に合致しているか
ニーズの有無	ニーズ(医療ニーズ、社会ニーズ)はあるか
知財化の可能性	新規性が見込めるか
実用化可能性	既存技術・治療に対する優位性は明確か
革新性	当該研究・開発が行われることにより既存医療技術を変革させうるか
計画の妥当性・実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発目的に対する計画が妥当であるか ・実施体制は適切か(医療研究者との連携は採択後でも良い)
実施可能性	開発実現性の根拠、予備的データはあるか

拠点内・拠点外別



モダリティ別



九州大学拠点外からのシーズ支援の方が多い

< R4年度公募 >

研究者代表所属別

	応募課題数	採択課題数	採択率
九州大	11	3	27%
九州大以外	21	6	29%
合計	32	9	28%

< R5年度公募 >

研究者代表所属別

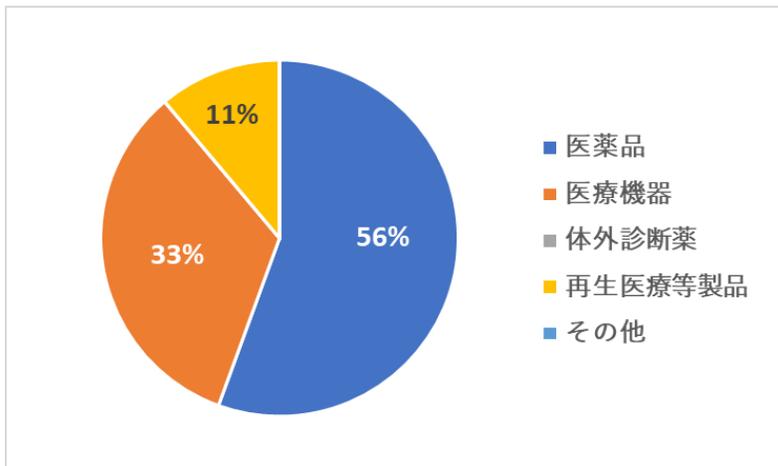
	応募課題数	採択課題数	採択率
九州大	17	6	35%
九州大以外	26	10	38%
合計	43	16	37%

< R6年度公募 >

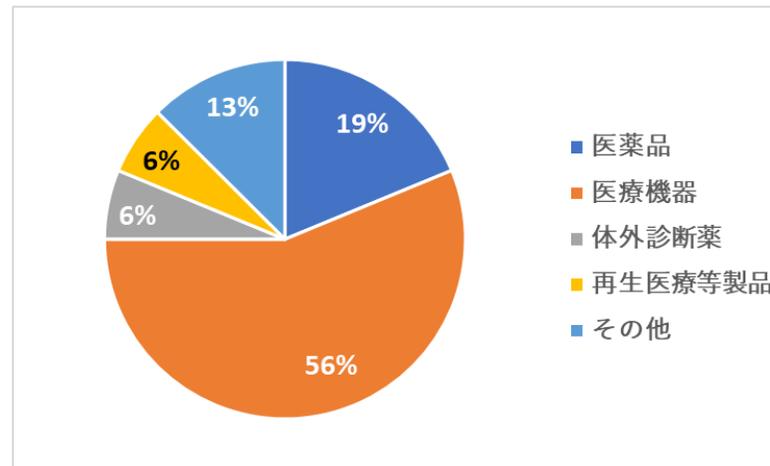
研究者代表所属別

	応募課題数	採択課題数	採択率
九州大	32	12	38%
九州大以外	32	10	31%
合計	64	22	34%

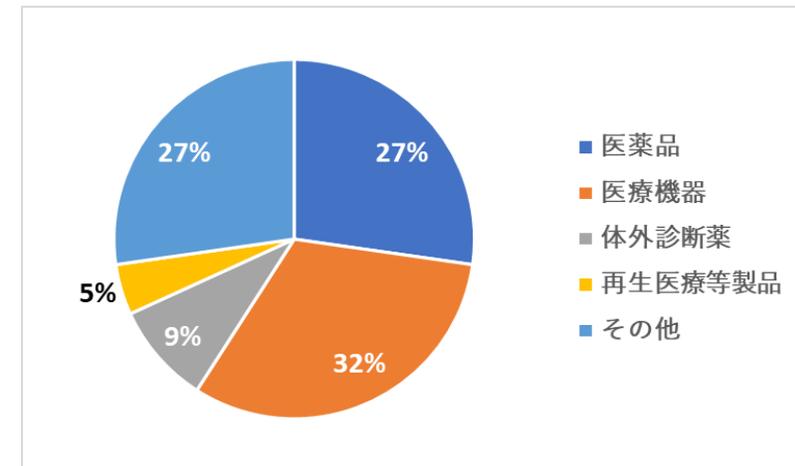
採択課題モダリティー別



採択課題モダリティー別



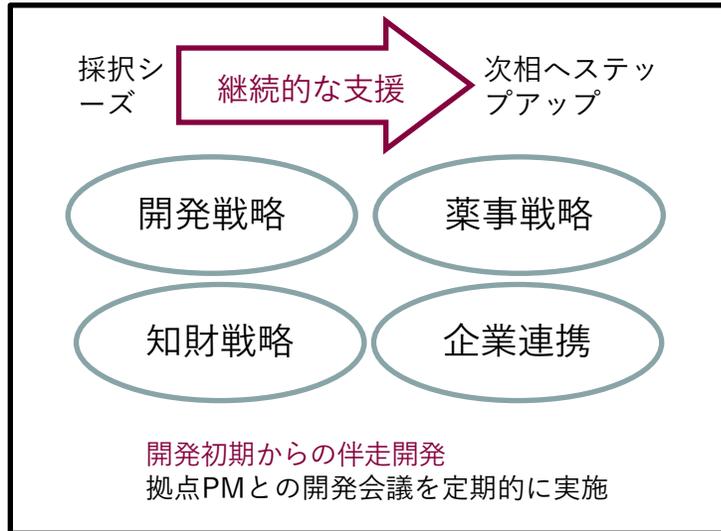
採択課題モダリティー別



I. 令和8年度橋渡し研究プログラム「シーズH」公募説明

II. 採択後の支援内容

開発支援



医療現場観察

飯塚メディコラボ

医療現場視察の場を提供し異分野研究者の医療ニ
ーズ理解を深める

企業連携支援

拠点独自の医療技術共創グラント等
による共同研究実現へ向けた支援
企業からの評価コメントを研究者に
フィードバックし、開発戦略に活用

連携先企業の探索

研究者教育



異分野融合型研究を推進する
ためのセミナー。年2回開催。



企業とアカデミアシーズのマッ
チングを目的として毎年開催。

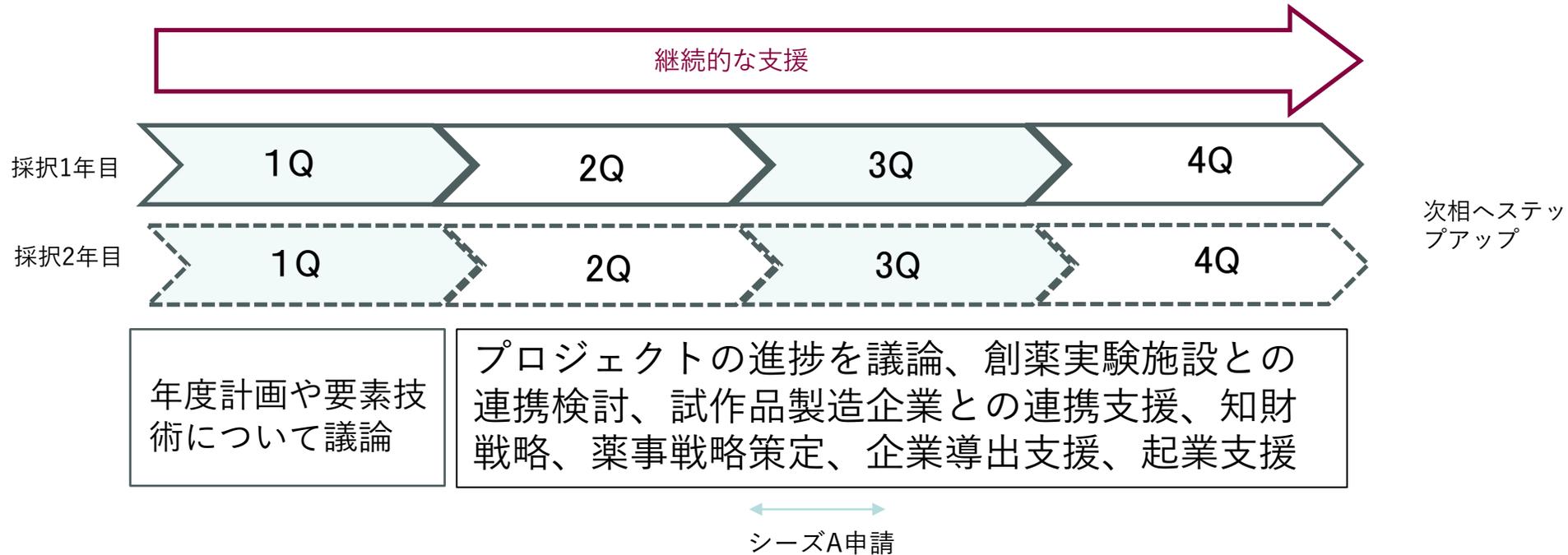


医薬品開発に必要な行程を網羅する
レクチャーコース。年1回開催。

左記の代表的なプログラムに
加えて、下記を活用すること
で効果的な研究者教育を実施

- ・知的財産講演会
- ・医療アントレプレナー育成
プログラム：Research
Studio
- ・PMDA戦略出張相談

開発初期からの伴走開発：拠点PMとの開発会議を定期的の実施



コラボから生まれる、明日の医療イノベーション。



過去実績(シーズH採択者による参加)

- ・R4年度: 1件
- ・R5年度: 3件
- ・R6年度: 1件

iizuka medicolabo® = 医療現場 観察プログラム

よりよい医療機器の開発をサポートし、医療の質を向上することを目的としています。“Patient First”を合い言葉に、医療機器・材料・システム・アプリの開発およびサービスの創出を目指す方々に医療現場を観察する機会を提供するプログラムです。

医療現場の実際の観察を通じて、医療についての理解を深めていただくとともに、事務局のイノベーション推進本部が現場ニーズの的確な把握をサポートします。



各種セミナーの提供

第7回 異分野融合の はじめかた

11.21 2024 17:00
THU 18:15

オンライン開催

対象
異分野融合型研究に関心のある方
※九州大学病院臨床研究推進課の
最新情報誌としても配信される

申込方法
下記フォームからお申し込みください。
申し込み完了時に自動返信でZoomの
開催URLをお送りします。

<https://forms.gle/3pYkUgVt9m9y1778988133868>

プログラム

- セミナー1 / 17:00-17:30
歩行映像を用いた運動器疾患の鑑別～異分野融合が切り拓く研究から臨床への道～
九州工業大学 大学院情報工学研究科知能情報工学研究室 准教授 武村 紀子 氏
- セミナー2 / 17:30-18:00
九大-先端医療オープンイノベーションセンターにおける異分野融合～ナノ材料からデバイス開発～
九州大学 先端医療オープンイノベーションセンター 教授 村田 正治 氏
- 公募説明会 / 18:00-18:15
医療技術共創グラント事業のご紹介
九州大学 生命科学革新実用化拠点構築研究推進部門 特任助教 池元 英樹 氏

主催・お問合せ

○九州大学 生命科学革新実用化拠点
構築研究推進部門 池元
Email : nw-info@med.kyushu-u.ac.jp
TEL : 092-642-4802

○九州工業大学 イノベーション本部
産学イノベーションセンター 米満
Email : ura-office@ccr.kyutech.ac.jp
TEL : 093-884-3674

協力
九州工業大学 SPRING プロジェクト

異分野融合型研究を推進するためのセミナー。年2回開催。

Translational Science & Medicine Training Program (TSMTP) 2024

「医薬品開発や Translational Research を進める上で必要なことは何か」をテーマに
最先端の第一線で活躍される方々にご講演いただきます。アカデミアや企業の特を起し、医薬
品開発に携わる方々のための人材育成プログラムです。

参加費 無料
定員 50名

日時 2024年 **8月31日(土)・9月1日(日)**
10:00～17:10 10:00～16:00

参加対象 アカデミア・企業に関わらず
医薬品開発に関心のある方
(学生を含む)

場所 JR博多シティ会議室 9階
(〒812-0012福岡県福岡市博多区博多駅前中央街1-1)

申込方法 <https://wat-new.org/archives/5388>

8月31日(土)		9月1日(日)	
開会のあいさつ 伊藤 浩司 (九州大学病院ARO次世代医療センター)	医薬品開発と特許 吉田 宏治 (九州大学病院ARO次世代医療センター)	CMCとGMP (研究開発から生産へ)	伊藤 浩司 (九州大学病院ARO次世代医療センター)
製薬企業における マーケティング部門の ミッションと役割 近藤 健二 (トクファーズ株式会社)	非臨床安全性試験とGLP 有馬 昭宏 (株式会社日本製薬)	臨床開発・治験・GCP ～何を見ているのか?～ 戸高 浩司 (九州大学病院ARO次世代医療センター)	製薬 医療機器メーカー、 VCなど企業参加多数
医薬品候補化合物の創製 川西 英治 (九州大学大学院医薬学)	創薬ターゲットの選択と スクリーニング系の確立 伊井 雅幸 (Ariadne Drug Discovery Partners株式会社)	候補化合物の選択における 薬物動態評価 谷口 文美 (シー・エル・エフ・エム株式会社)	医療技術共創グラントについて
候補化合物の選択と 初期毒性評価 白井 勇司 (第一三共株式会社)	候補化合物の選択と 初期毒性評価 白井 勇司 (第一三共株式会社)	医薬品の承認審査について 手塚 剛 (株式会社丸善 医薬品開発推進部)	九州大学医学部 百年講堂 (福岡市東区馬場3-1-1)
創薬イノベーションシステム Translational Science Center 下川 晃彦 (東京製薬株式会社 創薬イノベーション部)	閉会のあいさつ 馬場 英司 (九州大学病院ARO次世代医療センター)		

■内容は一部変更することがあります。随時更新してご提供いたします。■お泊り参加の参加費は別途お申し込みください。

お問合せ
九州大学 学術研究・産学官連携本部 生命科学革新実用化拠点
構築研究推進部門
TEL 092-642-4802
E-Mail nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

お問合せ
九州大学 生命科学革新実用化拠点 構築研究推進部門
TEL: 092-642-4802
E-Mail: nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

医薬品開発に必要な行程を網羅するレクチャーコース。年1回開催。

第12回 TR推進合同フォーラム・ ライフサイエンス技術交流会

～企業とアカデミアのパートナーシップに求められるもの～

最新の研究成果を取り上げ先講演会と、九州大学横濱校視点が支援しているシニアが一堂に会するポスターセッションの2部構成。
企業と研究者の新たなマッチングや研究者同士の情報交換の場をご提供いたします。

2024 10.17 木 13:00-17:00
参加費無料

九州大学医学部 百年講堂
(福岡市東区馬場3-1-1)

プログラム

- 第1部 13:00～15:00
講演①「希少種の進展と臨床応用の最前線:未来の傾向改革」
村尾 孝晃先生(香川大学 国際若少齢研究教育機構 教授)
- 講演②「HIV 感染症の治癒を目指して」
松下 修三先生(熊本大学 細胞トランスクリプトミクス研究センター 特任助教)
- 医療技術共創グラントについて
- 第2部 15:00～17:00
ライフサイエンス技術交流会(ポスターセッション)

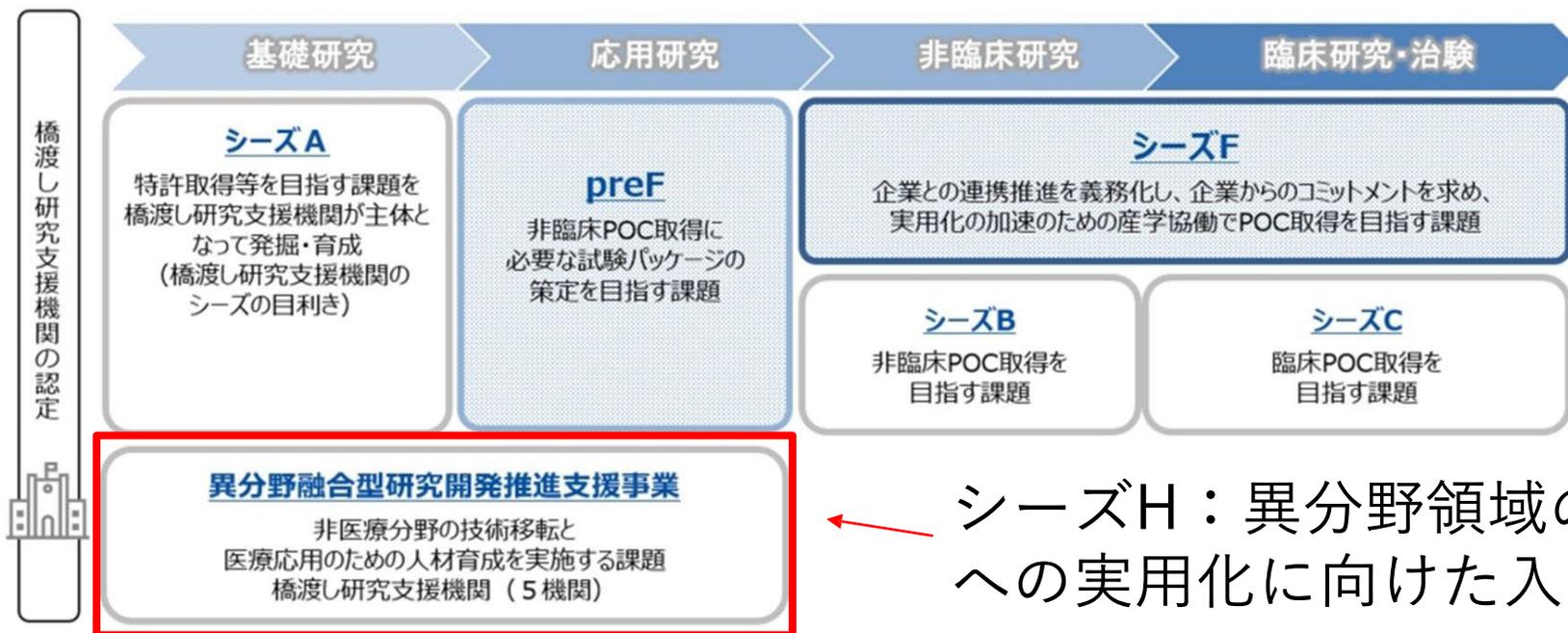
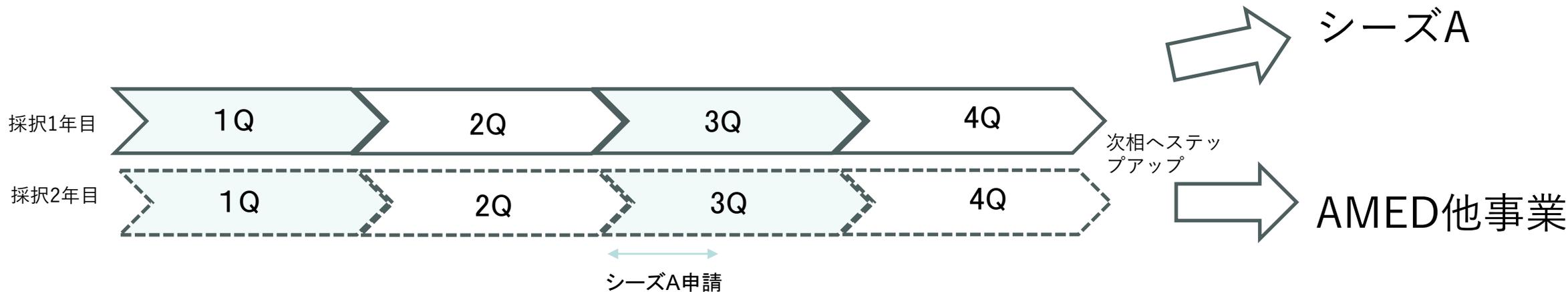
参加申込 <https://wat-new.org/archives/5510>

お問合せ
九州大学 生命科学革新実用化拠点 構築研究推進部門
TEL: 092-642-4802
E-Mail: nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

【主催】九州大学病院 ARO 次世代医療センター
九州大学 生命科学革新実用化拠点 構築研究推進部門
実行委員会
【協賛】九州大学・筑波大学・大阪大学・神戸大学・京都大学・香川大学・鹿児島大学・川崎医科大学・関西医科大学・北九州国立大学・九州工業大学・九州大学・京都府立医科大学・熊本大学・久留米大学・高知大学・佐賀大学・産業医科大学・鹿児島医科大学・高松大学・徳島大学・鳥取大学・長崎大学・広島大学・福岡大学・福岡工業大学・山口大学・徳島大学 (59機関)
【協賛】日本医薬研究開発機構 (AMED) (協賛) 日本製薬工業協会

企業とアカデミアシーズのマッチングを目的として毎年開催。

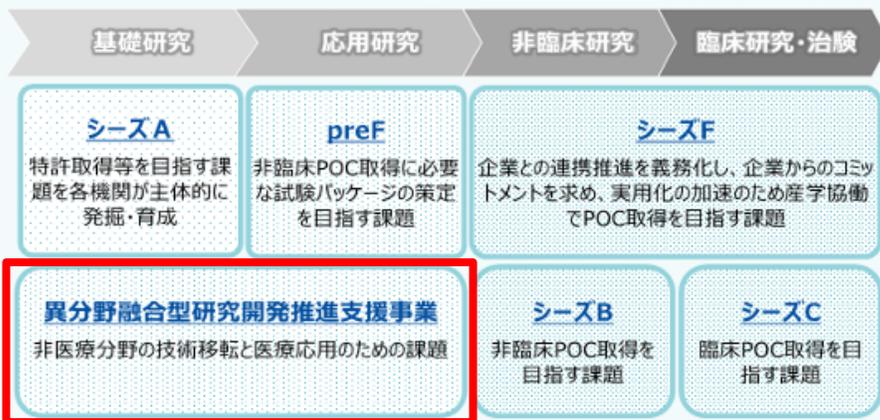
シーズH終了後のステップアップ



← シーズH：異分野領域の技術シーズの医療分野への実用化に向けた入口

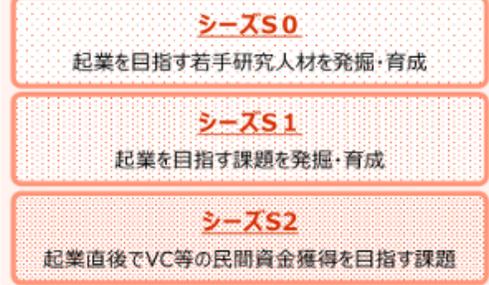
橋渡し研究支援プログラム：54億円

医師主導治験や企業導出に向けたシーズの発掘、育成支援を実施。



大学発医療系スタートアップ支援プログラム：152億円（令和5年度補正予算・基金）

橋渡し研究支援機関から選抜した機関に対し、大学発医療系スタートアップの起業に必要な専門的な支援や関係業界との連携を行うための体制整備費を支援。起業前から、非臨床研究などに必要な資金を柔軟かつ機動的に支援。



大学発医療系スタートアップ支援プログラム

橋渡し研究支援機関



公募要領・申請書
類
のダウンロード先



wat-new

<https://wat-new.org/hashiwatashi>



お問合せ先

九州大学 生命科学革新実現化拠点
橋渡研究推進部門 (ARO)

E-Mail: nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

Tel: 092-642-4802

【個別相談】

個別相談をご希望の方は、右記お問合せ先までご連絡ください。